

# **ISFJ Inter-university Seminar for the Future of Japan**

## **ISFJ2016 中間カンファレンス活動報告書**

文責：奥野 希美

### **【日時】**

2016年8月6日（土）

### **【会場】**

明治学院大学 白金キャンパス 本館3・4館

### **【参加】**

13 大学 30 研究会 18 分科会 85 チーム

### **【概要】**

論文に本格的に取り組む初段階として、論文のテーマ・方向性を修正・決定することを目的として開催されました。有識者の方々から専門的な知識をもとにご講評をいただくことで、新たな課題・問題点を発見し、より具体的で現実的な政策立案方針を考える場となりました。

### **【企画内容】**

各研究 15 分程度の発表時間の中で、現状分析・先行研究・問題提起の 3 点をプレゼンテーション形式で参加者に発表していただき、その発表を受け質疑応答を行いました。その後、参加者の皆様が正しい方向性で論文執筆が進められるよう、コメンテーターの皆様にアドバイスをして頂く時間を 10 分ほど取りました。最後に、各チーム意見シートを交換し、コメンテーターの皆様から総評をいただきました。



分科会での発表の様子



分科会終了後、コメンテーター  
に質問をする参加学生

#### 【責任者総評】

今回の中間カンファレンスは、1年間の論文執筆の方向性を決める役割を担うイベントとなりました。他大学や専門家の方の前で初めて発表するということもあり、最初は緊張が見られるも、会の終了後も積極的に質問や意見交換を行っている分科会もございました。今後の方向性についての疑問点や不安点が少しでも解消され、夏休みでの研究活動がより捗ることができるのではないかと思います。今後も更なる有識者の方々との意見交換を経て、皆様の政策提言がより精練されるよう運営委員一同、精一杯サポートして参りたいと考えています。